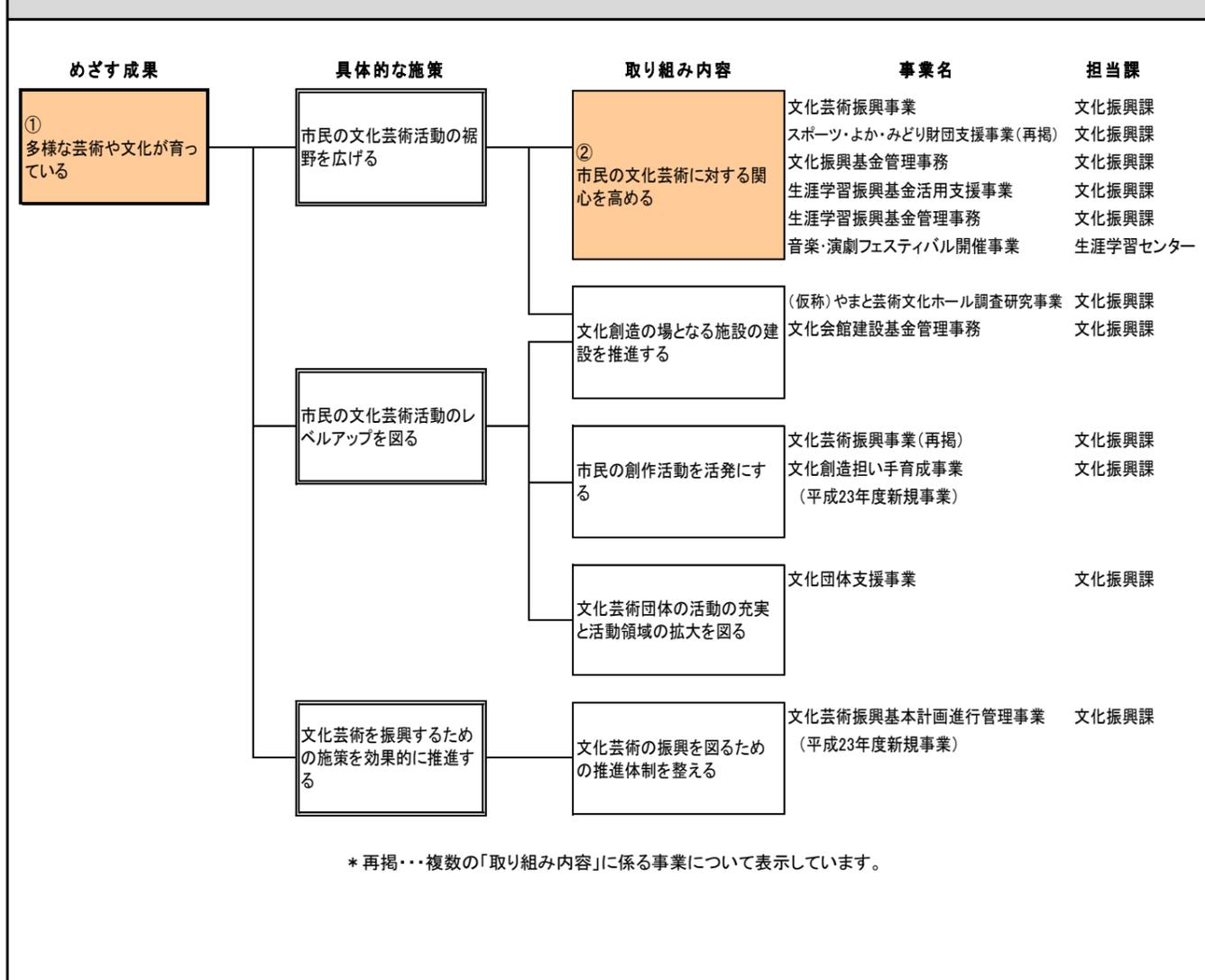


「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

6-2-1 多様な芸術や文化が育っている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・豊かな心を育むまち
	個別目標	大和の文化を守り育てる
	めざす成果	多様な芸術や文化が育っている 様々な分野の芸術、文化団体が組織されるなど、芸術、文化活動が活発に行われています。

「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
芸術や文化活動が盛んに行われていると思う市民の割合		文化芸術（市主催・共催）来場者数	
計画策定時	36.6%	計画策定時	4,127人
現状値		現状値	
実績値(H22)	37.0%	実績値(H22)	2,100人
中間目標値(H23)		中間目標値(H23)	
目標値(H25)	38.0%	目標値(H25)	4,600人

「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

主な取り組み内容	<p>【市民の文化芸術活動の裾野を広げる】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の文化芸術に対する関心を高めるために、コミュニティ音楽館を13回、まちかど落語を3回開催するなど、さまざまな鑑賞イベントを開催しました。また、市民が企画した文化芸術イベントに対し、基金を活用して補助金を交付しました。 関係課と連携しながら、芸術文化ホールの整備の方向性について検討を行いました。 <p>【市民の文化芸術活動のレベルアップを図る】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民から作品を募集し、優れた作品を表彰する一般公募展(書・絵画・写真・短歌・俳句・川柳)を開催しました。 団体間の連携を促進し、個々の活動のさらなる充実を図るために、大和市文化芸術連合会の交流会を開催しました。 <p>【文化芸術を振興するための施策を効果的に推進する】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき、文化芸術振興基本計画を策定しました。また、文化芸術振興審議会を常設の附属機関とし、計画の進行管理を行うための体制を整備しました。
----------	---

構成事業に対する考え方(事業の量及び実施手法)	<ul style="list-style-type: none"> 本市の文化芸術が将来にわたって発展していくためには、創造の担い手を増やしていくことが不可欠であり、今後は、子どもや若者の文化芸術活動を支援していくための取り組みを充実していく必要があります。 現在の大和市には、発信の核となる拠点や文化イベントがないことから、本市が持つ文化芸術の魅力を外に発信するための環境をハード、ソフトの両面から整えていく必要があります。 市民が企画するイベントに対し、経済的な支援を行う生涯学習振興補助事業は、近年、申請する団体が固定化している傾向にあることから、申請団体の増加、申請内容の質的な充実を図るための方策を検討していく必要があります。
-------------------------	--

今後の展開方針		注) 例年どおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	<ul style="list-style-type: none"> 「YAMATOイラストレーションデザインコンペ」を開催し、若者の発表活動を支援するとともに、市民が日常生活の中で文化芸術を感じ、楽しめる機会を提供します。 子どもたちの文化芸術活動をサポートする「(仮称)大和アート子どもくらぶ」の設立に向けた検討を行います。 	(該当する事務事業) 文化創造担い手育成事業
既存事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> 市民団体や財団、行政などの文化芸術イベントをつないだ「YAMATO ART100」プロジェクトを実施し、ソフト面における発信力の強化を図ります。 庁内関係課と連携しながら、芸術文化ホールの建設を推進するとともに、文化創造拠点としてふさわしい管理運営のあり方、手法などを検討します。 伝統文化伝承事業実行委員会(文化庁補助事業採択団体)が主催する「子ども伝統文化塾」、「伝統文化フェスティバル」の開催支援を行います。 	(該当する事務事業) 文化芸術振興事業 (仮称)やまと芸術文化ホール調査研究事業 文化団体支援事業
事業の廃止・縮減		(該当する事務事業)
事業の効率化		(該当する事務事業)
その他見直し	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習振興補助事業のさらなる充実を図るため、複数の団体の合同発表会といったジャンルの枠を超えた企画提案を促す取り組みを進めます。 	(該当する事務事業) 生涯学習振興基金活用支援事業 文化団体支援事業

施策への提言	
総合計画審議会記入欄	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動を行う市民団体に対し、市では生涯学習振興基金を財源として補助を行っています。近年では、申請団体が固定化する傾向にあることから、より多くの団体が制度を利用できるように周知方法などを検討してください。 専門家の説明を聞きながら芸術作品を鑑賞することで、市民がより芸術に親しむことができると考えます。「YAMATO イラストレーションデザインコンペ」の審査を公開にするなど、市民が芸術に触れる機会を増やす工夫をしてください。 第4地区の再開発事業で建設される公共施設のランニングコストについて、今後、明らかにしていく必要があります。